

## 論点メモ（案）

（第2回 都市自治体行政の専門性（医療・介護・保健）に関する研究会）

2014年8月

（公財）日本都市センター研究室

### 論点1 医療・介護・保健分野の連携が求められている経緯と現状

- ・人口減少社会と超高齢社会
- ・社会保障と税の一体改革
  - 入院患者の在院日数短縮化の方向性
  - 「地域包括ケアシステム」の構築
- ・医療・介護総合推進法の成立
  - 都道府県（医療）と市町村（介護）の役割分担
  - 医療費抑制・介護費抑制
- ・地域包括ケアシステムの現状と課題
  - 本来は、広く社会的に弱い立場にある人々を包摂するための制度
  - 実際は、高齢者に対象を限定
  - 生活支援、住宅、予防等の分野とも関連
  - エンドポイントの設定ができていない

等

### 論点2 医療・介護・保健分野の連携における都市自治体の役割

- ・市役所内部での共通認識の醸成の必要性
- ・医療・介護・保健の各分野に関する専門性の確保の必要性
- ・連携のための橋渡し役やコーディネーター役としての役割
  - 自治体職員に必要な知識や能力

等

### 論点3 様々なデータの利活用や客観的指標の設定

- ・医療レセプトの活用
- ・医療データ・介護データの連携

- 医療と介護のレセプトデータを基とする連携の検討
- ・ 医療データ・介護データを利活用しての健康づくり施策
  - 要介護認定に関するデータの健康教育等への活用
- ・ 地域包括ケアシステムについての客観的な指標や評価基準の設定
  - 既存の数値目標の整理・再設定
  - ヘルスリテラシーの視点の指標や評価基準の設定

#### 論点4 先進的な自治体による医療・介護・保健の連携に関する取組み

- ・ 地域包括ケア構築に向けた取組みとその成果や課題
  - 取組みを始めた経緯
  - 取組み内容
  - 連携パートナー
  - データの利活用
  - 指標の設定
  - 成功のカギと阻害要因
  - 今後の展望と課題

等

#### 論点5 包括的ケアを地域社会で実現するために求められるもの

- ・ 地域包括ケアのエンドポイントは何か
  - 地域特性等との関係・類型化
  - アプローチ
  - ヘルスリテラシーの向上
  - 「健幸社会の実現」
  - 医療費・介護保険給付費の抑制
  - 導入期の形と完成期の形
- ・ PDCAサイクルの確立に向けて
  - 導入期・完成期等の各段階での指標設定
  - 必要となるデータ
  - 情報やネットワークの「見える化」

等